

環境を守り、活かして選ばれる『グリーンアップおおいたプロジェクト』



【現状・課題】

- ・大分県は、**全国に誇る温泉、地熱**のほか、県土の71%を占める**森林など地域資源が豊富。再エネ自給率は全国トップレベル**
- ・2024年、自然環境を「守る」のみならず、「活かして選ばれる」視点を取り入れた県環境基本計画を策定
- ・これまでの環境政策を継承しつつ、企業の環境対策や環境保全活動などに新たな社会的価値を付け、経済の発展も促していく取組を「**グリーンアップおおいた**」として展開

【県の取組】

- ・CO2やプラスチックの削減に取り組む事業者を「**おおいたグリーン事業者**」として認証
- ・環境アプリ「**エコふあみ**」を活用した県民一人ひとりの省エネ行動への誘導促進
- ・森林J-クレジットやカーボンクレジットの創出拡大
- ・**体験型の環境教育イベント**等を通じた、次代を担うこどもたちへ啓発
- ・野焼きや希少種保護、外来種防除、看板設置などの**自然環境保全活動を支援**
- ・くじゅう連山やエコパーク・ジオパークなどの**山岳トイレや登山道の維持・管理**



おおいたグリーン事業者
認証制度



環境教育



野焼き（九重町）



登山道整備（竹田市）

詳しくはこちら▼

大分県生活環境部
環境政策課・
自然保護推進室



つなげよう ひろげよう いのちの輪 『さくら猫プロジェクト』

【現状・課題】

- ・2019年2月に「おおいた動物愛護センター」がオープンし、定期的に譲渡会を実施
- ・新たな飼い主に譲渡される猫がいる一方で、**致死処分される猫もあり**、このうち生まれて間もない子猫の割合は70%から40%に低下したものの、**依然高水準**
- ・生まれて間もない子猫を人の手で育てる事は非常に困難

【県の取組】

- ・2020年4月から市町村やボランティア団体等と協力し、**飼い主のいない猫の繁殖防止のために不妊・去勢手術を実施**
- ・手術した猫は、しるしとして**耳先を桜の花びらの形にカット**し、ボランティア団体が**地域で大切にお世話**します



詳しくはこちら▼

大分県生活環境部
食品・生活衛生課

今しちよかんと、まにあワン… 『安全・安心防災プロジェクト』

【現状・課題】

- ・国の南海トラフ巨大地震の被害想定では、**県内の死者数は約18,000人、最大避難者数は約201,000人**となっており、大規模な被害が見込まれる

【県の取組】

- ・2025年、避難所の環境改善に向け、**毛布や簡易トイレ、ベッドなどの備蓄を拡充**
- ・**トイレカーも新たに6台配備**（予定）するほか、市町村と**孤立集落への備蓄を支援**
- ・県内初となる**災害時中間支援組織が設立**。「場所」から「人」への支援体制を確立



防災訓練

今しちよかんと、
まにあワン…

詳しくはこちら▼

大分県生活環境部
協働・共助推進室・
防災対策企画課

誰でも、どこでも、自分らしく『女性が輝くおおいたアクションプロジェクト』

【現状・課題】

- ・日本の総人口は減少を続け、本県においても、2035年には100万人を下回る見込
- ・総就業者は、現状のまま推移すると3万人減少。**深刻な就業者不足が懸念**
- ・**管理的職業従事者に占める女性割合は、全国平均を上回る13.3%**だが低水準
- ・女性にとって魅力的な、働きやすい、活躍できる地域づくりが重要

【県の取組】

- ・働きやすい環境整備や起業支援を通じて、企業の成長と地域経済の発展を支援
- ・女性の学びの機会を創出するほか、女性同士のネットワークづくりなど支援
- ・柔軟な働き方や「共家事・共育て」の推進など、仕事と家庭の両立を促します



女性活躍応援県  おおいた

詳しくはこちら▼

大分県生活環境部
県民生活・男女共同参画課



車も自転車も、飲んだらのれん『優しいマナーと思いやりの運転県おおいたプロジェクト』

【現状・課題】

- ・2024年の死者数は、28名と過去最少となるが高齢者割合は約7割を占める
- ・「飲んだらのれん条例（平成19年制定）」に基づく飲酒運転根絶対策の実施
- ・全国に先駆けて、すべての高校でヘルメット着用を自転車通学要件に設定

【県の取組】

- ・SNS動画を通じた横断歩道での交通ルールの遵守とマナーアップ推進
- ・年末キャンペーンなど飲酒運転根絶に向けた県民運動の展開
- ・参加体験型講座など高齢者と子どもへの効果的な啓発



詳しくはこちら▼

大分県生活環境部
生活環境企画課

